2020年2月期 第2四半期決算短信（日本基準）（非連結）

2019年10月15日

上場会社名　株式会社買取王国　　上場取引所　東
コード番号　3181　URL https://www.okoku.jp
代表者　（役職名）代表取締役社長　（氏名）長谷川　和夫
問合せ先責任者　（役職名）管理本部長　（氏名）陳　美華　TEL 052-304-7851
四半期報告書提出予定日　2019年10月15日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有

（百万円未満切捨て）

1. 2020年2月期第2四半期の業績（2019年3月1日～2019年8月31日）

(1) 経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年2月期第2四半期	2,307	3.4	6	―	12	―	4	―
2019年2月期第2四半期	2,232	△0.3	△32	―	△22	―	△14	―

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年2月期第2四半期	2.73	―
2019年2月期第2四半期	△8.47	―

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年2月期第2四半期	3,126	1,843	59.0	1,041.65
2019年2月期	3,140	1,838	58.5	1,038.33

（参考）自己資本　2020年2月期第2四半期　1,843百万円　2019年2月期　1,838百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年2月期	―	0.00	―	0.00	0.00
2020年2月期	―	0.00			
2020年2月期（予想）			―	―	―

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2020年 2月期の業績予想（2019年 3月 1日～2020年 2月29日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,902	3.4	56	67.0	63	28.2	36	193.7	20.90

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

③ 会計上の見積りの変更 ： 無

④ 修正再表示 ： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年2月期2Q	1,771,800 株	2019年2月期	1,771,800 株
② 期末自己株式数	2020年2月期2Q	1,800 株	2019年2月期	800 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年2月期2Q	1,770,183 株	2019年2月期2Q	1,761,217 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料Ｐ．３「(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 2
（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期財務諸表及び主な注記 …… 4
（１）四半期貸借対照表 …… 4
（２）四半期損益計算書 …… 5
（３）四半期キャッシュ・フロー計算書 …… 6
（４）四半期財務諸表に関する注記事項 …… 7
（継続企業の前提に関する注記） …… 7
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 7
（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用） …… 7
（追加情報） …… 7

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益・実質所得が改善し、内需が底堅く推移しておりますが、世界景気が全般的に勢いを欠くことにより、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

小売業界におきましては、採用難・人件費の上昇が続くなか、消費税増税の影響を受け、消費者の購買行動が一層多様化し、厳しい経営環境が続いております。

このような外部環境に対応するために、当社はさまざまな取組みを進めてまいりました。

全体の商品調達力を高めるために、催事買取・宅配買取及び法人買取を強化してまいりました。また、店頭買取システムの見直し及びバイヤー育成に注力し、効率アップを目指しております。

取扱い商材に関しては、売上構成比の高いファッション・ホビー及び工具を攻めるものとして力を入れ、ブランド・トレカ・アウトレット衣料を徹底して守り、家電・スマートフォン・生活雑貨を育ててまいります。特に、工具については、標準化システムを構築し、誰でも買い売りできるようにしてまいります。

店舗政策においては、店舗管理システムのデータを分析し、各店の一坪あたり売価在庫や在庫回転率の適正化を図ってまいりました。また、店舗マニュアル作成専任者と教育プロジェクトチームと共に、業務標準化を推進してまいりました。既存店業績の格差をなくすために、業績向上チームが定期的に不振店舗を回り、店舗スタッフと共に各種施策を行っております。

出退店においては、工具専門店業態として、工具買取王国岡崎大樹寺店(愛知県岡崎市)を2019年３月21日に、工具買取王国京都久世171号店（京都市南区）を2019年７月１日にオープンいたしました。不採算店舗買取王国豊田248店（愛知県豊田市）を2019年５月29日に、マイシュウサガールヨシヅヤ清洲店（愛知県清須市）を2019年９月23日に閉店いたしました。

売上高については、主力商材のファッション・スマートフォンが不調でしたが、工具・ホビー・金券等が好調のため、売上高が前年同期を上回りました。利益面については、売上総利益率が改善し、増加した販売費及び一般管理費が吸収されて、営業利益が前年同期を上回ることとなりました。

以上の結果、当第２四半期累計期間の売上高は2,307百万円（前年同期比3.4％増）、営業利益は６百万円（前年同期営業損失32百万円）、経常利益は12百万円（前年同期経常損失22百万円）、四半期純利益４百万円（前年同期四半期純損失14百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

流動資産は、前事業年度末と比べて99百万円減少し、1,886百万円となりました。これは、有価証券が190百万円減少した一方、現金及び預金が52百万円、商品が59百万円増加したことなどによるものです。

固定資産は、前事業年度末と比べて84百万円増加し、1,239百万円となりました。これは、投資その他の資産が115百万円増加した一方、有形固定資産が７百万円、無形固定資産が22百万円減少したことなどによるものです。

この結果、総資産は前事業年度末と比べて14百万円減少し、3,126百万円となりました。

（負債）

流動負債は、前事業年度末と比べて19百万円減少し、612百万円となりました。これは、一年内返済予定の長期借入金が39百万円減少した一方、未払法人税等が４百万円増加したことなどによるものです。

固定負債は、前事業年度末と比べて０百万円減少し、669百万円となりました。これは、長期借入金が５百万円減少した一方、退職給付引当金が３百万円、資産除去債務が１百万円増加したことなどによるものです。

この結果、負債合計は前事業年度末と比べて19百万円減少し、1,282百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前事業年度末と比べて４百万円増加し、1,843百万円となりました。これは、四半期純利益により利益剰余金が４百万円増加したことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前事業年度末と比べて52百万円増加し、722百万円となりました。当第２四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果、増加した資金は54百万円（前年同期は125百万円の支出）となりました。これは主に、減価償却費の計上60百万円、法人税等の還付額14百万円により資金が増加した一方、たな卸資産の増加額60百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果、増加した資金は42百万円（前年同期は356百万円の支出）となりました。これは主に、有価証券の償還による収入190百万円、差入保証金の返還による収入９百万円、子会社株式の売却による収入９百万円により資金が増加した一方、投資有価証券の取得による支出132百万円により資金が減少したことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果、支出した資金は44百万円（前年同期は76百万円の支出）となりました。これは、長期借入れによる収入150百万円により資金が増加した一方で、長期借入金の返済による支出194百万円により資金が減少したことによるものであります。

（３）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年４月15日に公表した第２四半期累計期間の業績予想を最近の業績の動向等を踏まえ、修正いたしました。通期の業績予想については、現時点で変更はありません。詳細は、10月８日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．四半期財務諸表及び主な注記

（１）四半期貸借対照表

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年２月28日)	当第２四半期会計期間 (2019年８月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	669, 922	722, 421
売掛金	91, 252	86, 595
有価証券	190, 159	－
商品	943, 714	1, 003, 191
その他	90, 854	74, 354
流動資産合計	1, 985, 903	1, 886, 563
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	167, 302	165, 759
土地	341, 824	341, 824
その他（純額）	88, 542	82, 522
有形固定資産合計	597, 669	590, 106
無形固定資産	176, 640	153, 693
投資その他の資産		
投資有価証券	－	132, 109
関係会社株式	31, 900	21, 000
差入保証金	238, 114	233, 429
その他	110, 707	109, 287
投資その他の資産合計	380, 721	495, 826
固定資産合計	1, 155, 031	1, 239, 626
資産合計	3, 140, 934	3, 126, 190
負債の部		
流動負債		
買掛金	4, 951	3, 995
1年内返済予定の長期借入金	380, 726	341, 591
未払法人税等	8, 506	12, 643
賞与引当金	16, 886	17, 422
ポイント引当金	19, 114	18, 661
資産除去債務	3, 014	2, 100
その他	198, 888	216, 258
流動負債合計	632, 088	612, 672
固定負債		
長期借入金	576, 906	571, 546
退職給付引当金	28, 800	32, 000
資産除去債務	63, 699	65, 667
その他	550	574
固定負債合計	669, 955	669, 787
負債合計	1, 302, 043	1, 282, 460
純資産の部		
株主資本		
資本金	336, 370	336, 370
資本剰余金	266, 370	266, 370
利益剰余金	1, 236, 150	1, 240, 988
株主資本合計	1, 838, 891	1, 843, 729
純資産合計	1, 838, 891	1, 843, 729
負債純資産合計	3, 140, 934	3, 126, 190

（２）四半期損益計算書

第２四半期累計期間

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 2018年３月１日 至 2018年８月31日）	当第２四半期累計期間 （自 2019年３月１日 至 2019年８月31日）
売上高	2,232,345	2,307,899
売上原価	1,006,696	1,009,408
売上総利益	1,225,649	1,298,491
販売費及び一般管理費	1,258,322	1,292,192
営業利益又は営業損失（△）	△32,673	6,299
営業外収益		
受取利息	449	565
投資有価証券売却益	4,266	－
受取手数料	6,192	5,909
その他	1,357	1,562
営業外収益合計	12,265	8,037
営業外費用		
支払利息	1,840	1,157
その他	671	926
営業外費用合計	2,512	2,084
経常利益又は経常損失（△）	△22,919	12,252
特別損失		
子会社株式売却損	－	1,072
解約違約金	4,092	404
店舗閉鎖損失	－	2,400
特別損失合計	4,092	3,876
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△27,011	8,376
法人税等	△12,084	3,538
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△14,927	4,838

（３）四半期キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期累計期間 （自 2018年３月１日 至 2018年８月31日）	当第２四半期累計期間 （自 2019年３月１日 至 2019年８月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	△27,011	8,376
減価償却費	63,444	60,057
賞与引当金の増減額（△は減少）	2,304	536
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△1,319	△452
退職給付引当金の増減額（△は減少）	300	3,200
受取利息及び受取配当金	△449	△566
投資有価証券売却益	△4,266	－
子会社株式売却損益（△は益）	－	1,072
支払利息	1,840	1,157
売上債権の増減額（△は増加）	1,475	4,656
たな卸資産の増減額（△は増加）	△72,048	△60,720
仕入債務の増減額（△は減少）	999	△956
未払金の増減額（△は減少）	1,936	3,530
その他	△31,317	22,929
小計	△64,112	42,821
利息及び配当金の受取額	247	910
利息の支払額	△1,773	△1,010
法人税等の支払額	△61,190	△2,713
法人税等の還付額	1,568	14,299
営業活動によるキャッシュ・フロー	△125,261	54,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△114,243	△16,443
無形固定資産の取得による支出	△43,621	△11,907
投資有価証券の取得による支出	△197,119	△132,124
投資有価証券の売却による収入	10,266	－
有価証券の償還による収入	－	190,000
子会社株式の取得による支出	△10,900	－
子会社株式の売却による収入	－	9,828
差入保証金の差入による支出	△6,629	△4,605
差入保証金の返還による収入	6,600	9,050
その他	△1,206	△1,110
投資活動によるキャッシュ・フロー	△356,852	42,687
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	200,000	150,000
長期借入金の返済による支出	△267,509	△194,495
配当金の支払額	△8,780	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	△76,289	△44,495
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△558,403	52,499
現金及び現金同等物の期首残高	1,172,929	669,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	614,526	722,421

（４）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

税金費用については、当第２四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（追加情報）

（「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用）

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」（企業会計基準第28号　平成30年２月16日）等を第１四半期会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。